



カードファイト!! ヴァンガード

2026年4月実施「ファイターズルールの定期更新」について

ファイターズルールの定期更新にあたり、各レギュレーションでの更新内容についてご案内いたします。

* * * * *

●スタンダード

現在の大会環境などに基づいた更新

当該期間に「ヴァンガードチャンピオンシップデラックス 2025 世界大会」、「WGP デラックス 2026 Season1 愛知会場」などの公式大会が行われました。

その使用率および勝率を精査した結果を、下記の通りご案内いたします。

・ライドライン使用率

当該期間中前半での公式大会で使用率が多かったライドラインは以下の3種類になりました。

- ・「リライトザスター・ヴァージルア」
- ・「お菓子な可笑しいな遊園地 ハートルールー」
- ・「深淵霊域 レグルレグナス」

また、使用率が比較的多いライドラインの中で、勝率が高いライドラインは以下になりました。

- ・「極光戦姫 セラス・クリアライト」
- ・「深淵霊域 レグルレグナス」
- ・「真夜中の時間跳躍者”巻戻士 クロノ」
- ・「リライトザスター・ヴァージルア」

今回のファイターズルールの更新では、2025年度の大会シーン全体を通して、継続した使用率が見受けられるデッキ、一定の使用率があり勝率が突出して高いライドラインについて大会環境の流動性を担保するために変更を行います。

全体を俯瞰すると活躍できるデッキに多様性のある大会環境になっております。一定以上の使用率のデッキは各々の勝率が近く、どれか一つのデッキが突出しているという状況ではないため、一つのデッキのみに対してカードの使用制限を設けた場合、大きく環境の多様性が損なわれる可能性があります。そのような状況を防ぐため、一定以上の使用率があるライドラインについて全体的にカードの使用制限を設けることを決定いたしました。

以上を踏まえ、各ライドラインにつきまして検討した内容を、下記の通りご案内いたします。

・「**リライトザスター・ヴァージリア**」・・・「ヴァージリア “リライトフォーム・アルフナイツ”」の登場以降、一定以上の使用率があるライドラインでしたが、使用されている期間の長期化に伴い、徐々に勝率が上昇しておりました。当該期間に於いては、勝率に関してもこれまでの中で特に高くなっておりました。環境の固定化を防ぐため、カードの使用制限を行います。

・「**深淵霊域 レグルレグナス**」・・・ブースターパック「冥淵葬空」発売以降、「リライトザスター・ヴァージリア」に次ぐ使用率や、高い勝率となっておりました。環境の固定化を防ぐため、カードの使用制限を行います。

・「**お菓子な可笑しいな遊園地 ハートルールー**」・・・発売以降、継続して使用率が高く、かつ、当該期間に於いても、3番目の使用率と変わらない立ち位置を維持しておりました。長い期間、大会環境の推移がない要因のひとつとなっており、「深淵霊域 レグルレグナス」及び「リライトザスター・ヴァージリア」にカードの使用制限を施した後の環境では、使用率・勝率が非常に高くなってしまふ懸念があるため、カードの使用制限を行います。

・「**“真夜中の時間跳躍者”巻戻士 クロノ**」・・・使用率はそれほど高くはないものの、「深淵霊域 レグルレグナス」に次いで勝率の高いライドラインとなっていました。特に、他のライドラインに対してカードの使用制限を施した後の環境では、もともと高い勝率がさらに高くなってしまふ懸念があるため、カードの使用制限を行います。

・「**極光戦姫 セラス・クリアライト**」・・・使用率はそれほど高くはないものの、一部のデッキに対して非常に高い勝率を持っており、その影響もあって、このライドライン自体の全体勝率も突出して高くなっていました。そのため、一部のライドラインに対し、優位性を非常に高めている要因となっているカードに対して使用制限を行います。

・「**全知の神器 ミネルヴァ**」・・・当該期間以前から、一定以上の使用率があるライドラインであり、当該期間に於いても、勝率・使用率共に安定して高い数値を持っていました。長い期間、大会環境の推移がない要因のひとつとなっており、一部のデッキにカード制限を施した後の環境では、使用率・勝率が非常に高くなってしまふ懸念があるため、カードの使用制限を行います。

また、過去に開発したカードの中で、守護者能力を持つカード(又は、守護者能力と同等の防御力を持つカード)を繰り返し使うことができることで、新規カードとの組み合わせによって非常に高い防御力を持ってしまふものがあり、ゲームバランス上、常に注視せざるを得なくなるものがありました。

こちらの中で、制限時間以内にファイトを終わらせることが難しくなっている一部のカードや、様々なデッキに採用することができる自由度の高さを持っているカードについては、新しいカードの開発にあたって、魅力的なカードをご提供することが難しくなる要因となっております。

来年以降も現状のスタンダードを継続するにあたり、開発の自由度を上げるべく、使用制限の対応を実施させていただくことになりました。当該カードでお楽しみのファイターの皆さまに影響をおかけしてしまひますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上を踏まえたカードの使用制限の変更内容は以下の通りです。

新たに「カードの使用制限」に追加されるカード

・「ヴァージルア“リライトフォーム・アルフナイツ”」（ドラゴンエンパイア)(DZ-SS11/007)(DZ-SS11/FFR01)

「2枚まで使用可」・・・デッキに2枚まで入れることができます。

「ヴァージルア」は防御力が高く、長いターン数をかけてファイトをすることが多いライドラインです。長いターン数をかけてファイトしていく中で、ターン数を追うごとに全体のパワーラインが高くなっていくことと、このカードが1枚手札にあればアタックするための準備が整う再現性の高さが非常に強力であり、このデッキの勝率を上げる要因として大きく寄与しております。

そのため、1ファイト中にライドできる最大回数に制限をかける目的として、「デッキに2枚まで使用可」の制限とさせていただきます。

・「リライトザスター・ヴァージルア」（ドラゴンエンパイア)
(DZ-SS07/001)(DZ-SS07/001R)(DZ-BT02/043)(DZ-BT02/FR05)(D-PR/882)(D-PR/1016)

・「ドラグリッター ニルミーン」（ドラゴンエンパイア)
(DZ-BT08/003)(DZ-BT08/FFR03)(DZ-BT08/SR03)

「選抜制限」・・・当該グループの中から1種まで選び、選んだカードは、デッキに4枚まで入れることができます。当該グループのそれ以外のカードはデッキに入れることができません。

前述した通り、「ヴァージルア」デッキは「アルフナイツ」の有無が大きく勝率に関与しています。デッキ内の「アルフナイツ」を探すことができるカードは他にもありますが、「ニルミーン」は「アルフナイツ」をメインフェイズ中に探すことができる点や、「リライトザスター・ヴァージルア」のバインド能力との組み合わせにより、パワーの高いブーストユニットとして場に残り続ける点において、デッキの再現性と攻撃面の両方を支えるカードとなっております。

「ヴァージルア」デッキの安定性及び、パワーラインを落とす制限をかける目的として、「選抜制限」とさせていただきます。

・「咆え猛る防衛本能」（ドラゴンエンパイア)
(D-BT11/065)(D-PR/868)(D-PR/869)(D-PR/1268)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

超トリガーと合わせることで、5万以上のガード値で守る挙動を1ファイト内で複数回行えるため、他の国家と比較して、ドラゴンエンパイアのみ防御面で大きな優位性がありました、その挙動に制限をかける

目的として、「使用不可」とさせていただきます。

・「お菓子な可笑しいな遊園地 ハートルールー」 (ダークステイツ)

(DZ-BT09/004)(DZ-BT09/FFR04)(DZ-BT09/SR08)(DZ-BT09/SEC02)

・「焼尽の精霊王 ヴァルナート」

(D-SS05/001)(DZ-BT01/025)(DZ-BT07/027)(DZ-BT13/028)(DZ-SS04/CR26)(DZ-SS04/GCR26)(D-PR/791)

「選抜制限」・・・当該グループの中から1種まで選び、選んだカードは、デッキに4枚まで入れることができます。当該グループのそれ以外のカードはデッキに入れることができません。

「焼尽の精霊王 ヴァルナート」の追加効果と、「オモチャ怪獣 ブレイビロス」及び「ジャイアント・フワフワ」の能力の相性が良く、パワー1 憶クリティカル 2 での2回アタックを行うか、ガード制限をしながらの2回アタックを行うかの強力な2択を選択できます。特に前者はこの挙動のみでファイトの決着がつき得る組み合わせです。「ハートルールー」はデッキ内のトリガー確率を上げつつトリプルドライブを行うため、超トリガーを引く確率が高く、上記の挙動が起こりやすくなっております。全体的な勝率を抑える目的として「選抜制限」とさせていただきます。

・「召鴉の魔道士 コルヴォール」 (ダークステイツ)(DZ-SS11/022)

「2枚まで使用可」・・・デッキに2枚まで入れることができます。

「運命の巻戻士」は、ペルソナライドの安定感、ドライブチェックのトリガー確率、ソウルの供給量の3種類の要素が多いほど攻撃面が強くなるデッキになっており、「コルヴォール」はドロップからブースト要員として登場できる上に、ソウルを計2枚供給しながら、山札からグレード3を探し、ペルソナライドの安定性とトリガー確率を上げられる、という攻撃面で重要な3種類の要素すべてを補うことができるカードになっています。

以上を踏まえまして、デッキの再現性を上げる大きな要因となっている「コルヴォール」をコールできる可能性を下げることを目的として、「デッキに2枚まで使用可」の制限とさせていただきます。

・「極光戦姫 デリィ・バイオレット」 (ブラントゲート)(D-BT02/017)(D-BT02/SP17)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

ファイト中、“ヒットされなくなる”能力を使える回数を増加させることが可能なカードであり、D-双闘をはじめとしたグレード2以下をヴァンガードとして戦う一部のデッキに対して強力な対策カードにもなっ

ています。

「極光戦姫」デッキの防御力と、一部のデッキに対する勝率を落とす目的として「使用不可」とさせていただきます。

・「**彩火の魔法 レレリム**」(ケテルサンクチュアリ)(D-BT11/029)(D-BT11/FR26)

「1枚まで使用可」・・・デッキに1枚まで入れることができます。

「ミネルヴァ」デッキの序盤の盤面展開を支えるカードでありながら、「烏の魔女 カモミール」を利用した連続アタックの回数を増やすことができたり、メインデッキ内に1枚しか採用していない「全知の神器 ミネルヴァ」をドロップから手札に戻して繰り返しペルソナライドをしたりなど、使い道が多岐に渡るカードであり、序盤から終盤まで常に強力なカードとなっております。

また、ドロップからクランが《ジェネシス》のみのカードを手札に戻す効果が《ジェネシス》関連のカード開発の幅を狭めてしまっている側面もあるため、「デッキに1枚まで使用可」の制限とさせていただきます。

・「**切去の騎士 ディアリン**」(ケテルサンクチュアリ)

(D-BT08/046)(D-BT08/FR25)(D-PR/694)(D-PR/695)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

使用し終わった守護者をドロップから手札に戻して繰り返し使うことができる挙動が可能なため、「邂逅」デッキのようなクランが単一のデッキの中で、ケテルサンクチュアリに属するライドラインのみ、防御面で優位性がある状態になっていました。その挙動に制限をかける目的として、「使用不可」とさせていただきます。

・「**廻風の魔法 パリリス**」(ケテルサンクチュアリ)(D-BT12/051)(D-BT12/FR30)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

ファイト中に“ヒットされなくなる”能力を使える回数を増加させることが可能なカードであり、後列の退却手段がないデッキなど、一部のデッキに対して強力な対策カードにもなっています。

そのうえ、ケテルサンクチュアリの国家の特色として特定のユニットをデッキから探してコールしたり、相手のカードの効果で選ばれなくなる状態を付与したりすることが可能であり、このカード自身もすべてのデッキタイプで使用可能な汎用性の高さを持つため、ケテルサンクチュアリ全体の防御面の優位性を上げていました。今後の開発領域を狭めてしまっていることも踏まえ、「使用不可」とさせていただきます。

- ・「ハーヴェスト・エルフ」(ストイケイア)(DZ-BT09/017)(DZ-BT09/FFR17)(DZ-BT09/SR35)
- ・「腐滅の篡竜」(ストイケイア)(D-BT04/110)(D-BT04/H46)(D-PR/1487)(D-PR/1488)

「選抜制限」・・・当該グループの中から1種まで選び、選んだカードは、デッキに4枚まで入れることができます。当該グループのそれ以外のカードはデッキに入れることができません。

「ハーヴェスト・エルフ」を序盤に登場させてプラント・トークンをブーストした後にドローする挙動や、効果によってドロップから登場させたユニットを「ハーヴェスト・エルフ」の退却コストとして使うことで手札の総数を増やす挙動など、「ハーヴェスト・エルフ」の存在がデッキ全体の攻撃力・防御力の強化、また、キーカードを探す再現性に繋がっております。それに加え、自分のリアガードを退却させることによって相手のバインド等の対策として使用でき、一部のデッキに対する勝率を高める要因にもなっておりました。

特に、「腐滅の篡竜」を「ハーヴェスト・エルフ」の退却コストとして使うことで、手札を増やしながらか、アタックの総回数が増やせる「腐滅の篡竜」を相手のバインド等の効果から守れる挙動が、非常に強力なため、「選抜制限」とさせていただきます。

- ・「悪食拵え」(ストイケイア)(D-BT04/109)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

ストイケイアの特徴としてドロップからのコールが容易でありながら、ブリッツオーダーを手札に戻して繰り返し使うことができるため、手札枚数を容易に増やし、防御力を大幅に増加させる要因となっており、ブリッツオーダーの開発領域を狭めているカードであるため、「使用不可」とさせていただきます。

- ・「大賑わいの観客席」(プラントゲート)(DZ-SS01/021)
- ・「聖堂満たす慈愛の聖歌」(ケテルサンクチュアリ)(DZ-SS01/023)
- ・「花薫る街のお菓子屋さん」(ストイケイア)(DZ-SS01/025)

「使用不可」・・・デッキに入れることはできません。

このカードが1枚オーダーゾーンにあれば、ドロップからユニットをコールする能力と組み合わせ、ファイト中に守護者能力を使える回数を大幅に増やすことができるカードになっています。

ドロップからユニットをコールできる能力を持つデッキの防御面の優位性を大きく上げているうえ、デッキのギミックと関係なくバインドゾーンの枚数を容易に増やせることで、今後の開発領域を著しく狭めているカードでもあるため、「使用不可」とさせていただきます。

●P スタANDARD

当該期間中に公式の大型大会の実施はございませんでした。

そのため、今回の更新では変更は行いません。

* * * * *

次回の定期更新は、2026年6月の発表を予定しております。

なお、内容に変更がない場合も、変更無しとして告知いたします。

※定期更新とは別に、必要に応じた緊急の更新を行う場合がございます。

ブシロードならびにカードファイト!! ヴァンガード開発チームは、各レギュレーションにおいてさまざまなデッキでファイトを楽しんでいただける対戦環境の提供を目指し、そのための総合的な大会環境の整備やカードの開発に努めてまいります。

今後とも弊社並びに弊社商品のご愛顧を何卒よろしくお願い申し上げます。

※記載内容についてのお問い合わせにはお答えいたしかねますのでご了承ください。

以上